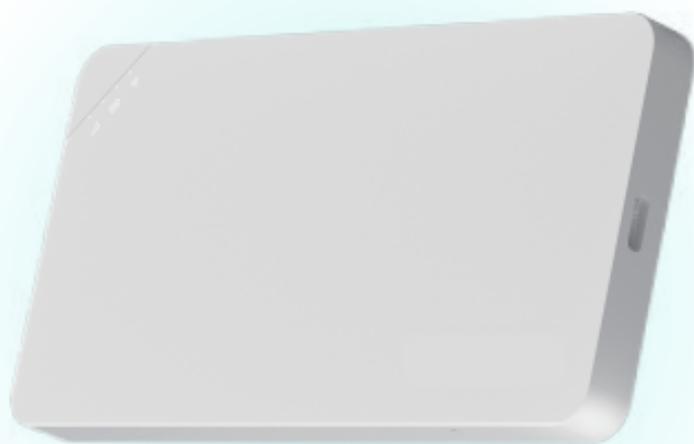




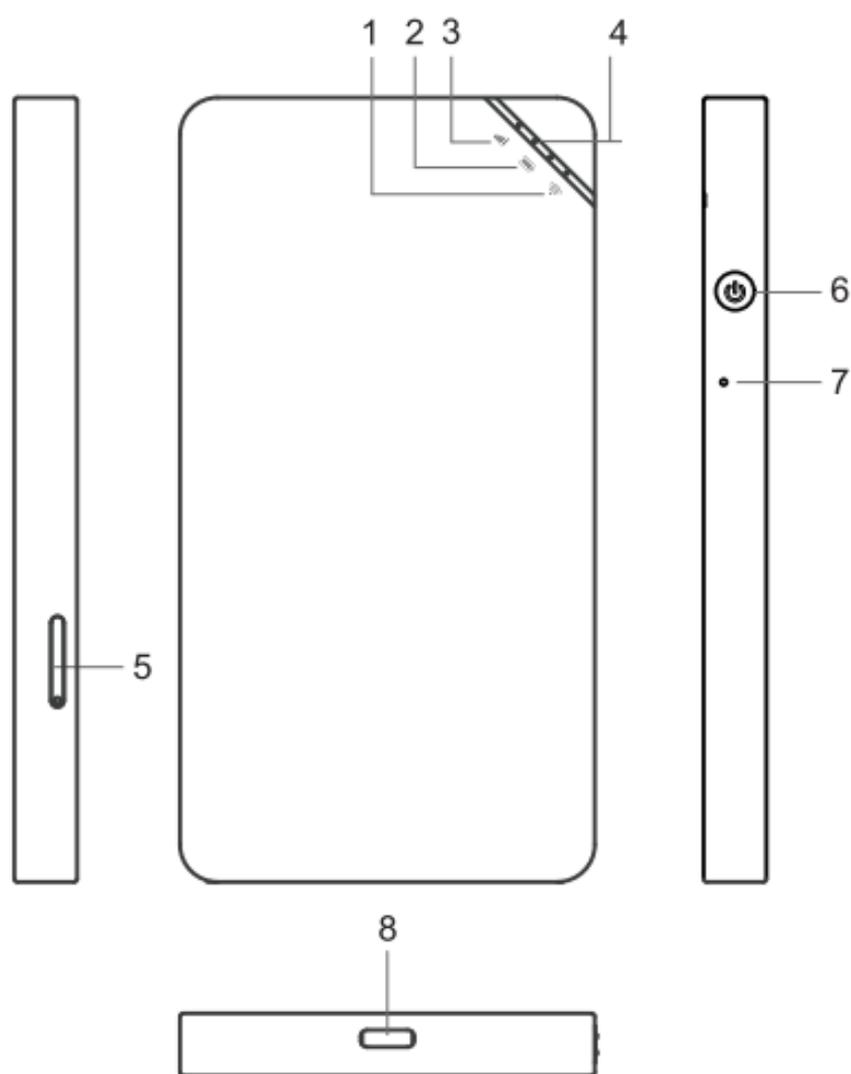
使い方ガイド



INDEX

製品の概要	P.03
機能紹介	P.04
Wi-Fi接続の仕方 iOS Android	P.05
Wi-Fi接続の仕方 PC	P.06
海外利用時の注意事項	P.07
「データローミング」オフの仕方 iOS	P.08
「データローミング」オフの仕方 Android	P.11
「iCloud」オフの仕方 iOS	P.13
「アプリの自動更新」オフの仕方 Android	P.14
国際電話の発着信を全て遮断する iOS	P.15
通信容量の確認方法	P.17
電源プラグ(マルチタイプ)のご利用方法 オプション	P.18
取り扱い上のお願い	P.24
端末名称	P.28
技術規格	P.28
お問い合わせ先	P.28

製品の概要



- 1. Wi-Fiインジケータライト
- 2. バッテリーインジケータライト
- 3. シグナルインジケータライト
- 4. 強度インジケータライト
- 5. SIMスロット
- 6. 電源ボタン
- 7. リセットボタン
- 8. Type-C USBポート

ユーザーマニュアルの情報は、ソフトウェアのバージョンによって異なる場合がございます。ご了承くださいませ。

機能紹介

1. 電源オン：電源ボタンを3秒間押し続けてください。
2. 電源オフ：電源ボタンを5秒間押し続けてください。
3. 再起動：電源ボタンを14秒間押し続けてください。
4. リセット（工場出荷状態に戻す）：リセットボタンを5秒間押し続けてください。
5. バッテリー残量と信号強度の表示：電源が入っている状態で電源ボタンを短押しすることにより、バッテリー残量と信号強度が表示されます。

（強度インジケータライトの点灯数が強度を表します）

LEDインジケータタイプ	状態	説明
Wi-Fi インジケータライト	オン	インターネットに接続完了
	オフ	インターネットに未接続
	点滅	インターネットに接続中
シグナルインジケータライト	オン	電波強度を表示
	点滅	サービスエラー
バッテリーインジケータライト	オン	バッテリー残量の表示
	点滅	充電中

SIMスロット

**SIMカードの利用につきましては、
当社ではサポートしておりません。**



SIMスロットは開けないでください

開けた場合、またはSIMを挿入した場合、予期せぬ故障の原因となります。

いかなる場合も動作保証いたしません。

Wi-Fi接続の仕方

電源ボタンを長押しして端末を起動し、Wi-Fiインジケータライトが点灯するのを確認します。



端末裏のラベルに記載されるSSID（ネットワーク名）とパスワードをWi-Fi対応機器に入力して接続してください。



スマートフォン iOS

iOS7 / iOS8 / iOS9 / iOS10

設定

Wi-Fi

Wi-Fiをオン

ルーターのホーム画面に記載されているSSIDを選択しパスワードを入力



スマートフォン Android

※機種・メーカーによって設定メニューは異なります。

メニュー

設定

「無線とネットワーク」の項目にある「Wi-Fi」をタップ

「ON/OFF」のスイッチを右にスライドしてWi-Fiをオン

ルーターのホーム画面に記載されているSSIDを選択しパスワードを入力



パソコン PC

Windows7 / Windows10

タスクトレイにあるWi-Fiアイコンをクリック



表示れたネットワークから、ルーターの側面(上部)に記載されているSSIDを選択し、[接続]をクリック



Wi-Fi機器に記載されているパスワードを入力し[OK]もしくは[次へ]をクリック

Windows8

画面の右上隅からマウスポインターを合わせて(タッチパネルの場合は画面の右端からスワイプして)表示されたチャームから[設定]を選択



[設定]チャームが表示されるので、ネットワークアイコンを選択



[ネットワーク]チャームが表示されるので、ルーターの側面(上部)に記載されているSSIDを選択
※Wi-Fi機器の機種により、上記名称は若干異なります。



セキュリティキーの画面が表示されますので、
Wi-Fi機器に記載されているパスワードを入力し、[次へ(N)]をクリック

Mac OS X

[アップルメニュー]→[システム環境設定...]の順にクリックし、[ネットワーク]をクリック
[ネットワーク]画面が表示されるので [Wi-Fi]→[Wi-Fiを入にする] ボタンの順にクリック



[ネットワーク名]のプルダウンリストから、ルーターの側面(上部)に記載されているSSIDを選択
※Wi-Fi機器の機種により、上記名称は若干異なります。



パスワードの入力画面が表示されるので、パスワードを[パスワード]欄に入力
[このネットワークを記憶]にチェックをし、[接続]ボタンをクリック



接続設定前に、本体液晶画面に表示されているSSID(WiFi名)とパスワードをご確認ください。

海外利用時の注意事項



接続前
ご確認ください

使い方を誤りますと、携帯電話会社から高額
の請求をされたり、通信速度が遅くなり快適
にご利用できなくなる場合があります。
必ず以下の設定を行なってください。



1 Wi-Fi対応機器の「データローミング」を「オフ」にする。

オフに
しないと…



高額請求を課せられる可能性があります。

データローミングが「オン」になっていると、現地キャリア
へ国際ローミング接続されてしまい、高額な通信量を請
求される場合があります。

設定の概略

設定 ▶

モバイルデータ通信 ▶

データローミングオフ

※機種・メーカーによって設定方法は異なります。

詳しい設定方法

iOSの設定方法P.8

Androidの設定方法P.11

2 「iCloud」や、「アプリの自動更新」を「オフ」にする。

オフに
しないと…



通信速度の低下や通信停止となる可能性があります。

iCloudなど、データを自動的にネット上にバックアップする
サービスは、意識せずとも大容量通信となる場合があります。
またインストール済のアプリを「自動更新」に設定していると、
アプリの自動更新を行う際に大容量通信をしてしまいます。規
定の通信容量を超過すると、通信速度の低下や通信が停止し
てしまう場合があります。

設定の概略

設定 ▶

iCloud/アプリの自動更新オフ

※機種・メーカーによって設定方法は異なります。

詳しい設定方法

「iCloud」オフの仕方 (iOS)P.13

「アプリの自動更新」オフの仕方 (Android)P.14

「データローミング」オフの仕方 iOS

iOS 10

docomo

設定

モバイル
データ通信

通信のオプション

「データローミング」
をオフ



au

設定

「モバイルデータ通信」→
「通信のオプション」

ローミング

「音声通話ローミング」と
「データローミング」をオフ



Softbank

設定

「モバイルデータ通信」→
「通信のオプション」

「4Gをオンにする」をオフ

「データローミング」をオフ



docomo

設定

モバイルデータ通信→
「オプション」

「LTE回線を使用・
データローミング」をオフ



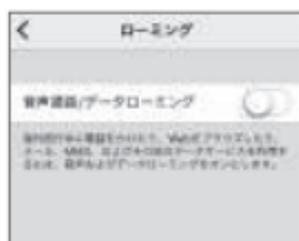
au

設定

モバイル
データ通信

ローミング

「音声通話ローミング・
データローミング」をオフ



Softbank

設定

モバイル
データ通信

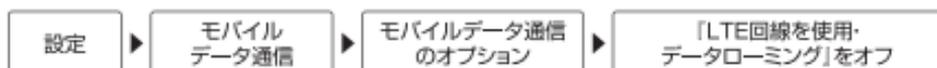
「4Gをオンにする」
をオフ

「データローミング」
をオフ

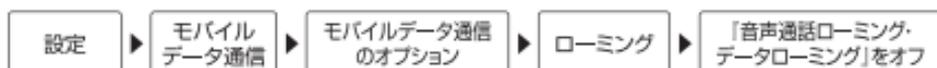


iOS8

docomo



au



Softbank



iOS7

docomo



au

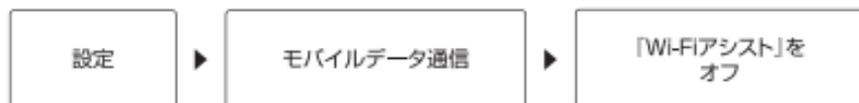


Softbank



iOS9の方は「Wi-Fiアシスト」も「オフ」にしてください。

「Wi-Fiアシスト」は、iOS9以降の機能です。「オン」にしているとWi-Fiの接続状況が良くない時に、自動的にモバイルデータ通信へ替わってしまい、高額請求を課せられる場合があります。「データローミング」の設定と併せて行ってください。



「データローミング」オフの仕方 Android

※機種・メーカーによって設定メニューは異なります。

Android7

設定→無線とネットワーク



もっと見る
※メニュー表示が隠れている場合



モバイルネットワーク



「データローミング」をオフ



Android6以降

設定



モバイルネットワーク



「データローミング」をオフ

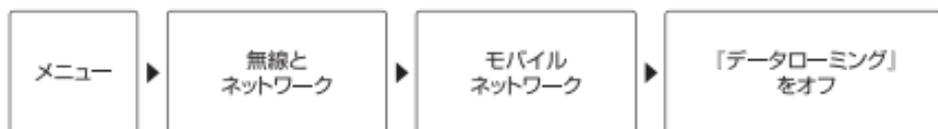


Android4.4

例 ①

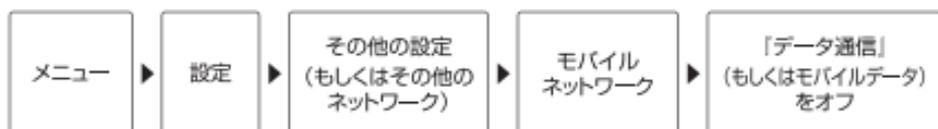


例 ②

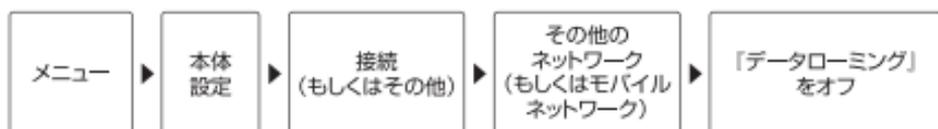


Android4.3

例 ①



例 ②



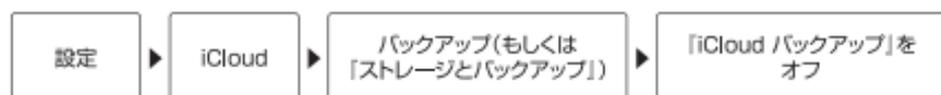
「iCloud」オフの仕方 iOS

通常は、iCloudへ自動的にアップロードされないようにフィルタリング機能が設定されていますが、念のためオフにしておいてください。

iOS 10



iOS 7 / iOS 8 / iOS 9



「アプリの自動更新」オフの仕方 **Android**

※機種・メーカーによって設定メニューは異なります。

Android4.3以降

「Google Playストア」起動

メニュー

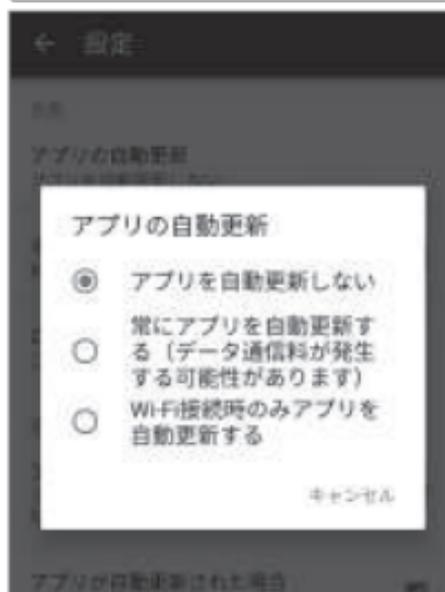


設定



アプリの自動更新

「アプリを自動更新しない」を選択



国際電話の発着信をすべて遮断する iOS

海外での電話の発着信をすべて遮断する場合は「機内モード」に設定します。

※国際電話は、発着信ともに国内より割高な通話料が適用されます。
着信でも通話料がかかるのでご注意ください。

1 「設定」→「機内モード」→「オン」。



2 「Wi-Fi」が自動的に「オフ」になります。



3 再度「設定」から「Wi-Fi」を「オン」。



4 ルータの側面(上部)に記載されているSSIDを選択。



※Androidも同様に設定します。



国際電話の通話だけをしたい

- ➡ 特に設定の必要はありません。発信もできますのでご注意ください。
※着信でも通話料がかかるのでご注意ください。



メールを送信・受信したい

- ➡ 海外Wi-Fiは、Wi-Fiを利用した通信サービスのために、一部のメールサービスがご利用できません。予めご確認ください。

 <p>利用可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ i.softbank.jp(ソフトバンクのiPhone専用アドレス) ■ SPモードメール(docomo)^{※1} ■ Ezwebメール(au)^{※2} ■ その他パソコンメール G-mail、Yahoo mailなど <p>※1 SPモードにおけるメール受信について docomoのメールをWi-Fiにて利用する場合は設定が必要です。予め日本での設定をお勧めします。渡航先で設定する場合は、docomoのSPモードに接続する必要があり、パケット料金が発生しますのでご注意ください。詳しくはdocomoサービスカウンターまでお尋ねください。</p> <p>※2 一部ご利用いただけない機種があります。</p>
 <p>利用不可</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ S!メール(ソフトバンク) ■ iモード(docomo)[*] <p>SPモード非加入時。</p>



LINEやFacebook等のSNSメッセージを使いたい

- ➡ 特に設定の必要はありません。
日本国内と同様にご利用いただけます。

通信容量の確認方法

1 jetfi とWi-Fi対応機器^{※1}を接続します。

jetfiに接続された端末でのみ確認ができます。

※1 Wi-Fi 対応機器：スマートフォンやタブレット、パソコンなど

2 通信容量確認画面にアクセスします。

接続された機器のアドレス(URL)バーに

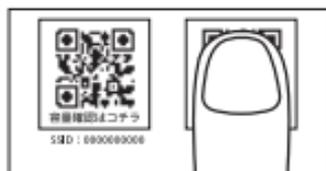
「192.168.43.1」を入力するか、以下の

QRコードを読み取ってください。



本機背面に「通信容量確認画面」のQRコードを記載しています。

QRコードを読み取る際は、右側の「操作方法」のQRコードを指で隠した上で、お手持ちのスマートフォンなどで読み取りください。



3 通信容量を確認できます。

画面に表示されている数値が、ご利用された通信容量です。



上記以外の操作は、本機がレンタル機の為、お客様操作による詳細設定変更をお控え下さい。

変更された場合は、サポート外となります。設定のリセットや初期化は有料となります。

※Wi-Fiは「Wi-Fi Alliance」の登録商標です

電源プラグ(マルチタイプ)のご利用方法 オプション

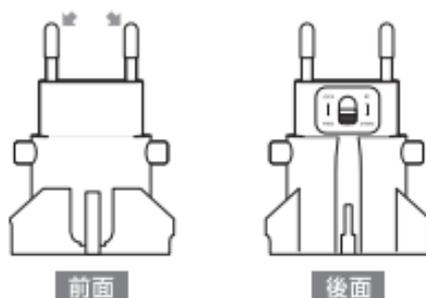
jetfiレンタル利用時のみのオプションです。各国のコンセント形状に合わせて、変換アダプターを組み替えてご使用ください。



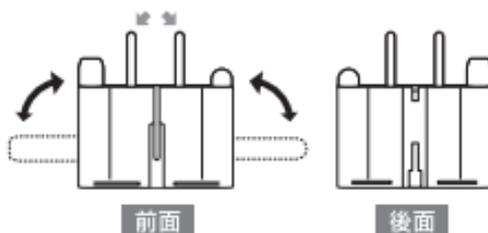
弊社jetfi付属のACアダプターは海外対応(100V~240V)となっています。変圧機能はございませんので、ご利用の機器が海外対応していない場合は、変圧器をご持参下さい

各部の名称

ブロックA



ブロックB

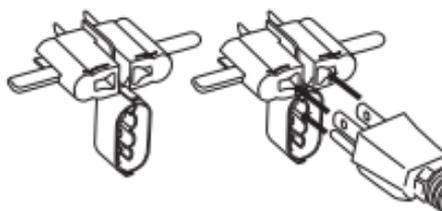


プラグキャップ

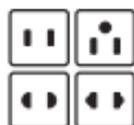


アース付きプラグ使用の場合

お使いの機器が3ピンプラグの場合、本製品を滞在先で使うプラグタイプに変換し、プラグキャップの凸部をブロックA、またはブロックBの溝に差し込んでください。プラグキャップがアースピンを覆い安全です。



各国のコンセント形状



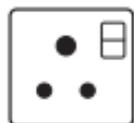
Aタイプ

アメリカ、カナダ、グアム、
フィリピン、台湾、カンボ
ジア、エジプト など



BFタイプ

アルゼンチン、イギリス、
インド、タイ、シンガポ
ール、香港、マレーシア など



B3タイプ

アラブ首長国連邦、インド
ネシア、エジプト、マレー
シア、シンガポール など



Bタイプ

シンガポール、中国、インド、
インドネシア、ケニア、ネパ
ール、南アフリカ共和国 など



Cタイプ

アルゼンチン、イタリア、
オーストリア、スイス、タ
イ、ニューカレドニア など



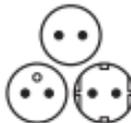
Oタイプ

オーストラリア、中国、ニュ
ージーランド、バプアニュー
ーギニア、フィリピン など



O2タイプ

中国(シャッター付き)



SEタイプ

インドネシア、スウェーデ
ン、ドイツ、フランス、ベル
ギー、韓国、エジプト など



CBタイプ

ブラジル

使用方法

ブロックAのみ使用



Bタイプ

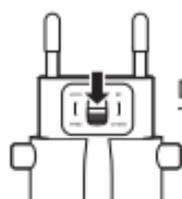
Cタイプ

CBタイプ

SEタイプ

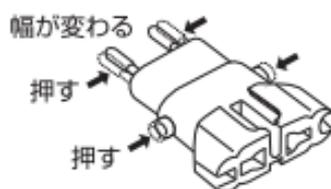
用の形状変換

- 1 ロックスイッチが「FREE/OTHERS」側になっているかを確認してください。



ロックスイッチを下げる

- 2 コンセントに差し込む時は、左右のボタンを押し、2本の丸ピンの幅を調整してください。



幅が変わる

押す

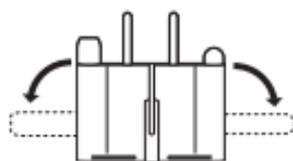
押す

ブロックBのみ使用

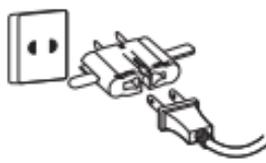


Aタイプ 用の形状変換

- 1 左右のプラスチックピンを上げます。

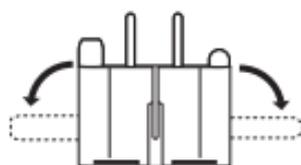


- 2 平刃形状のピンを平行に回転させ、コンセントに差し込みます。

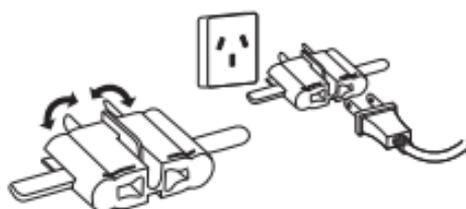


Oタイプ 用の形状変換

- ① 左右のプラスチックピンを
拡げます。

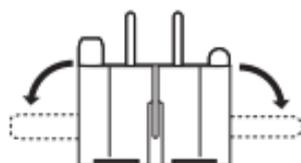


- ② 平刃形状のピンを八の字
(コンセントの形状)に回
転させ、コンセントに差し
込みます。



O2タイプ 用の形状変換

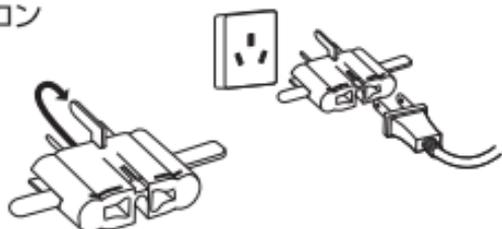
- ① 左右のプラスチックピンを
拡げます。

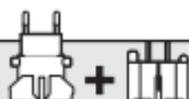


- ② 平刃形状のピンを八の字
(コンセントの形状)に回
転させます。



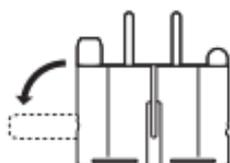
- ③ 真ん中にあるL字型のピン
を上方向へ回転させ、コン
セントに差し込みます。



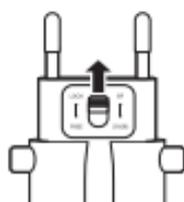


BFタイプ 用の形状変換

- 1 ブロックBの平型プラスチックピンを横に倒します。

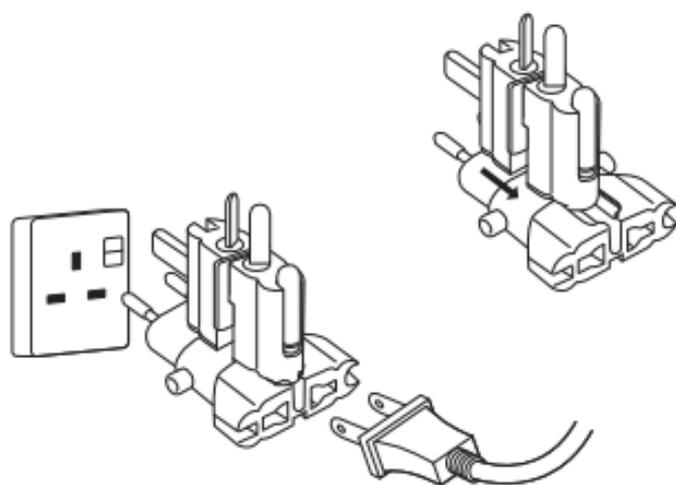


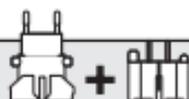
- 2 ブロックAのロックスイッチを「LOCK」「BF」側にして、2本の丸ピンを固定します。



ロックスイッチを
上げる

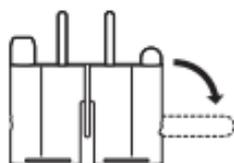
- 3 ブロックBをブロックAの溝にスライドして合体させます。コンセントに差し込みます。



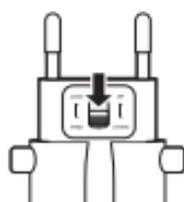


B3タイプ 用の形状変換

- 1 ブロックBの平型プラスチックピンを横に倒します。

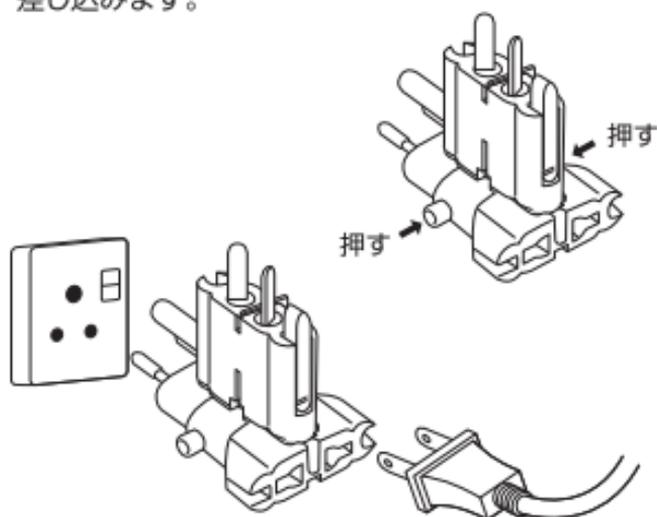


- 2 ロックスイッチを「FREE/OTHERS」側になっているかを確認します。



ロックスイッチを
下げる

- 3 ブロックBをブロックAの溝にスライドさせ合体させます。左右のボタンを押して丸ピンの幅を調整し、コンセントに差し込みます。



取り扱い上のお願い



注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

共通のお願い

●本端末は防水 / 防塵性能を有していません。水没させたり、水滴や粉塵を付着させたりしないでください。

風呂場など湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。

直接身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となることがあります。

●無理な力がかからないように使用してください。

無理な力がかかると、内部の基板などが破損し故障の原因となります。ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。

●急激な温度変化を避けてください

本端末を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだ時などに、本端末の内部や外部に水滴が付き結露することがあります。この状態でお使いになると、内部が腐食し故障の原因となります。

端末本体についてのお願い

●本端極端な高温 / 低温 / 多湿はお避け下さい。

温度 5℃～35℃(ただし 36℃～45℃であれば一時的使用は可能です)

湿度 35%～85%の範囲(結露なきこと)でご利用ください。

●落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

●キャッシュカードやクレジットカード、フロッピーディスクなどの磁気を帯びた記憶媒体を本端末に近づけないでください。

近づけると磁気データの消失の原因となります。

●本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると、誤動作の原因となります。

- 一般電話 / テレビ / ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 電池が膨らんだ状態での機器の使用・充電は直ちに中止し、jetfi サポートセンターまでお知らせください。
- 本製品を不正に入手されたことが確認できた場合、予告なく使用を制限する場合があります。

充電についてのお願い

- 極端な高温 / 低温 / 多湿はお避け下さい。
温度 5℃～35℃、湿度 35%～85%の範囲（結露なきこと）でご利用ください。
- 次のような場所では充電しないでください。
ほこりや振動の多い場所一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く。

比吸収率 (SAR) についての情報

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準 および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この製品に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。身体に装着した場合の SAR の最大値は 1.434W/kg です（※2）。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

この製品の利用時は、身体から 0.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。

このことにより、この製品が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に準じます。当該端末は下記の二つの条件に準拠し動作します。(1) 当該端末が有害な電波干渉を発生させることはないこと。かつ、(2) 当該端末は誤作動を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があること。関連業者から明確に承認されていない、いかなる交換や修正を行った場合、ユーザーの端末に関する操作権が失効します。

注意：当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に基づく、B 類デジタル端末のテストに合格し、それに準拠するものと認定されています。これらの制限は、住宅地区で使用した際に有害な電波干渉を合理的に防止するために設計されたものです。この装置は高周波エネルギーを発生、使用、放出するので、取扱説明書に従って設定・使用を行わなければ、無線通信に有害な電波干渉をもたらすおそれがあります。ただし、設定の際に電波干渉が全く起こらない保証はございません。仮に端末がラジオ / TV へ有害な電波干渉をもたらす場合、(端末の電源のオン・オフで判断ができます) 下記の方法にて措置を講じてください。

- ・再設定あるいは場所を変えて接続を行う
- ・端末と他の通信機器との間隔を空ける
- ・端末を受信機と異なる回線へ接続する
- ・製造元またはラジオ /TV の専門家に相談する



端末名称

U3

技術規格

- ・ サイズ: 126*66*10mm
- ・ LTE FDD: バンド1/2/3/4/5/7/8/9/12/13/17/
18/19/20/25/26/28/66
- ・ LTE TDD: バンド34/38/39/40/41(194M)
- ・ WCDMA: バンド1/2/4/5/6/8/9/19
- ・ GSM: 850/900/1800/1900
- ・ 上り最大速度: 50Mbps
- ・ 下り最大速度: 150Mbps
- ・ Wi-Fi: IEEE802.11b/g/n
- ・ USBポート: Type-C (入力)
- ・ バッテリー容量: 3000mAh
- ・ 入力電力: DC 5V=2A

「jetfi」ご利用にあたってのご注意

この度はWi-Fiレンタルサービス「jetfi」をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。「jetfi」の機能を十分に活かし、海外でも安心してご利用いただくために、必ず本誌をよくお読みの上ご利用ください。



飛行機搭乗時にご注意ください

飛行機には「手荷物」で持ち込んでください。

本機には大容量リチウムバッテリーが搭載されており、飛行機へは「預け入れ荷物」(貨物室預かり)としては持ち込めません。必ず「手荷物」として機内へ持ち込んでください。

※対応は航空会社によって異なります。詳しくは各航空会社へお問い合わせください。

お問い合わせ

jetfiサポートセンター

 **0570-017-711**

渡航先からのお問い合わせ

+81-3-6625-4515

受付時間:9:30~18:30(土日祝を除く)

メールでのお問い合わせ

helpjetfi@mayass.com